

パシフィコ横浜 緊急対応ガイド



2017年4月改訂

～ 目 次 ～

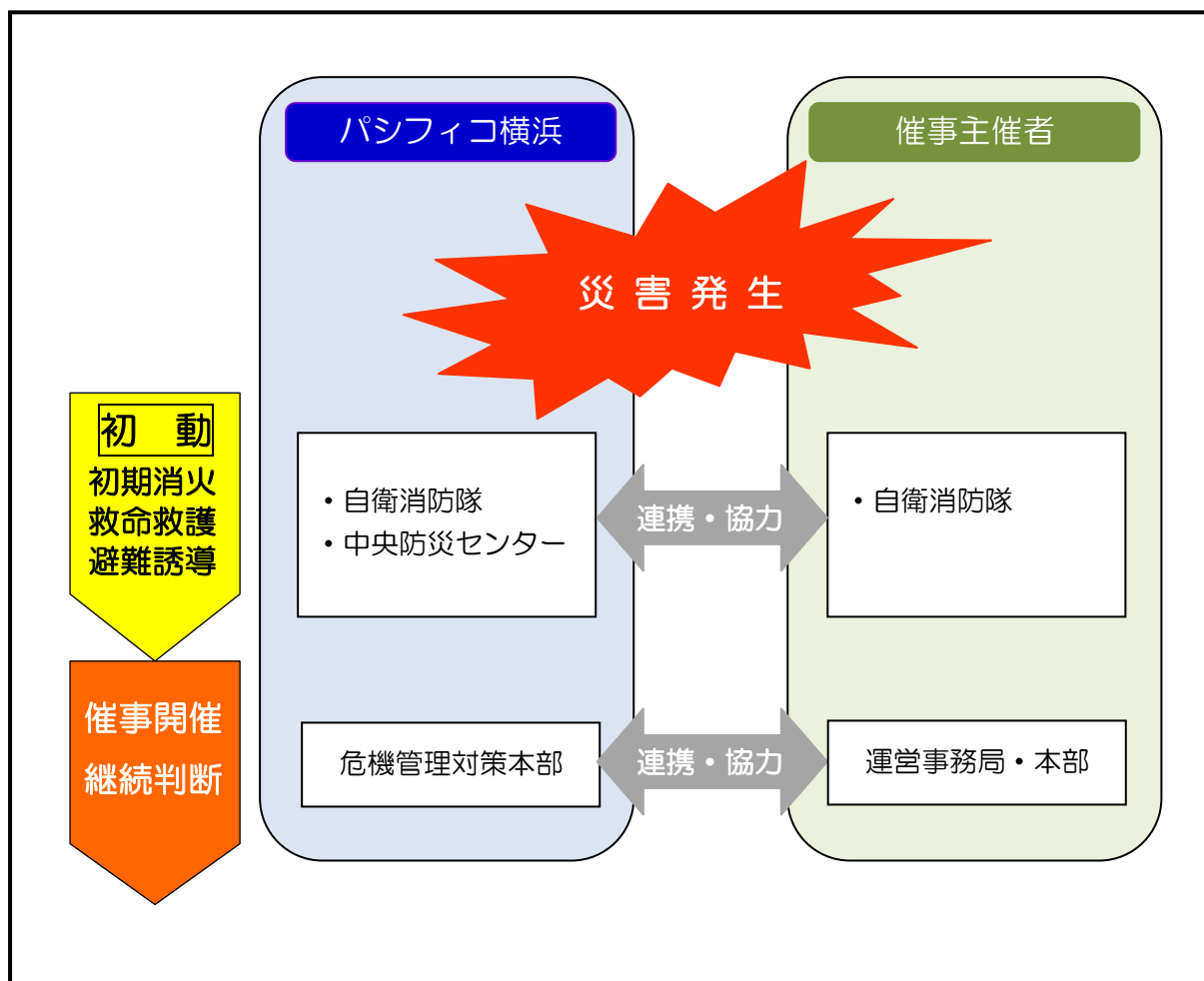
目次	．．．．．	1 ページ
はじめに	．．．．．	2 ページ
1. パシフィコ横浜の概況		
(1) 横浜市防災計画とパシフィコ横浜の位置づけ	．．．．．	3 ページ
(2) 想定地震と被害想定	．．．．．	4 ページ
(3) パシフィコ横浜の施設について	．．．．．	5 ページ
(4) 避難場所	．．．．．	6 ページ
2. パシフィコ横浜における防火防災体制		
(1) 非常時の連絡体制	．．．．．	7 ページ
(2) 自主防火防災管理	．．．．．	8 ページ
3. 緊急事態発生時における行動基準・安全対策		
(1) 火災	．．．．．	10 ページ
(2) 地震	．．．．．	11 ページ
(3) 救急（病人・負傷者）	．．．．．	12 ページ
(4) 事件・事故	．．．．．	13 ページ
4. 資料		
(1) 避難経路	．．．．．	15 ページ
・ 国立大ホール		
・ 会議センター		
・ 展示ホール・アネックスホール		
(2) 防災設備		
① 屋外消火栓	．．．．．	21 ページ
② 屋内消火栓、常設消火器	．．．．．	21 ページ
(3) 救護設備		
① 救護室	．．．．．	22 ページ
② A E D（自動体外式除細動器）	．．．．．	23 ページ
(4) 災害用備蓄品	．．．．．	24 ページ

<はじめに>

本ガイドは、パシフィコ横浜で催事をご開催いただく主催者の皆様に、弊社施設の特性や防火・防災体制をご理解いただくとともに、火災・地震等の災害や事件・事故が発生した場合に、パシフィコ横浜との連携及び連絡体制や主催者の皆様にご対応いただく事項について、ご説明致しております。

主催者の皆様におかれましては、「パシフィコ横浜防災指針」(別冊)と併せてご参照いただき、万全なる防火・防災体制を構築していただきますようお願い致します。

緊急事案発生時、主催者の皆様と弊社の相互協力は大変重要となりますので、皆様のご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い致します。



1. パシフィコ横浜の概況

(1) 「横浜市防災計画」におけるパシフィコ横浜の位置づけ

① パシフィコ横浜の位置付け

「横浜市防災計画」により、パシフィコ横浜の施設は、次のとおり指定されています。

- ・ 国立大ホール： 帰宅困難者一時滞在施設
- ・ 展示ホール： 予備的物流拠点※1、補足的避難場所※2
- ・ アネックスホール： 補足的避難場所
- ・ 全施設： 津波避難施設

また、大規模災害時の警察署代替施設として、神奈川県警戸部警察署とも協定を締結しております。

大規模災害時には、ご利用者の皆様との協議の上、施設の開放を決定いたします。尚、パシフィコ横浜周辺地域およびみなとみらい地区は、「大規模延焼火災の恐れが低い地域」に指定されており、特に広域避難場所を指定しなくても、個々人の判断による避難行動で生命の安全が確保される地域とされております。

※1「予備的物流拠点」：救援物資の集配拠点となる物流拠点（基幹物流業者倉庫）を補完するもの

※2「補足的避難場所」：多数の避難者で避難場所のスペースが不足した場合に、補足的避難場所として活用するもの

② 横浜市の備蓄品（みなとみらい地区）

2015年6月現在

種類（保管場所）	内容
災害用地下給水タンク	大型災害用地下給水タンク × 4基 ・ 高島中央公園（1,500 m ³ ） ・ カップヌードルミュージアムパーク（1,300 m ³ ） ・ ヨーヨー広場地下（グランモール公園内 / 1,000 m ³ ） ・ 臨港パーク地下（700 m ³ ） （ 常時水道水がタンクの中を流れる仕組みになっており、 災害時には、約50万人分の飲料水を3日分確保できます。 ）
帰宅困難者用備蓄倉庫 （臨港パーク）	8,000名の帰宅困難者の受け入れを想定して、以下の災害用備蓄品を整備しております。 （ 保存ビスケット、水缶詰、カップラーメン、高齢者用オムツ、 紙オムツ（高齢者・幼児）、おしりふき、生理用品、トイレパック、 トイレットペーパー、アルミブランケット、大型トイレtent、 ワンタッチテント、発電機、ランタン、パルーン投光器、等 ）

【参考】「横浜市防災計画」のホームページアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/keikaku/keikaku.html>

(2) 想定地震と被害想定

「横浜市防災計画 震災対策編（平成 27 年 2 月修正版）」では、想定地震・被害想定・津波想定は、以下のとおり記載されています。

① 想定地震

「横浜市防災計画」では、元禄型関東地震（M8.1）、東京湾北部地震（M7.3）、南海トラフ巨大地震（M9.0）、慶長型地震（M8.5）の 4 地震を、横浜地域に最も被害をあたえる地震として想定しています。

地震名	解説
元禄型関東地震	相模トラフ沿いを震源とするマグニチュード8.1の地震
東京湾北部地震	マグニチュード7.3の首都直下地
南海トラフ巨大地震	東海地震を包括したマグニチュード9クラスの地震
慶長型地震	神奈川県「平成23年度津波浸水想定検討部会」で設定したマグニチュード8.5の地震。津波被害の検討対象地震

② 被害想定（みなとみらい地区）

想定されている上記 4 種類の地震におけるみなとみらい地区の被害想定は、以下のとおりです。

	元禄型地震 (M8.1)	東京湾北部地震 (M7.3)	南海トラフ巨大地震 (M9.0)	慶長型地震 (M8.5)
想定震度	7	6強	5強	—
液状化被害	可能性有	可能性有	可能性有	ほとんど生じない
津波想定	横浜港最大 2.6m	横浜港最大 2.2m	横浜港最大 1.9m	横浜港最大 4.1m
※神奈川県津波浸水想定検討部会	↓ 津波による影響 殆どなし	↓ 津波による影響 殆どなし	↓ 津波による影響 殆どなし	↓ 津波による影響 殆どなし

「横浜市防災計画」では、平成 23 年度に神奈川県が設置した津波浸水想定検討部会で想定した津波の被害を想定しています。

最も津波被害が大きいと想定される地震は「慶長型地震」で、みなとみらい地区の最大津波高は 4.1m とされています。

(3) パシフィコ横浜の施設について

① 建物の耐震性

パシフィコ横浜の建築物は、新耐震設計法（1981年制定）により設計されており、建物躯体は、震度6強に耐えうるのものであります。

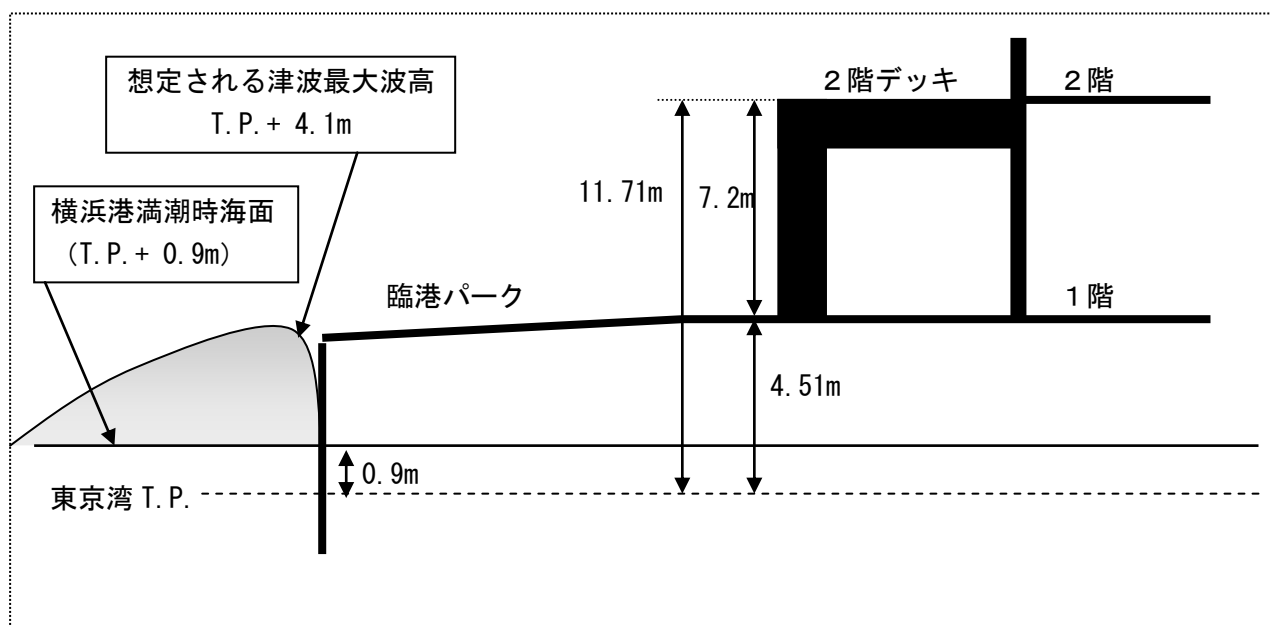
しかし、これはあくまでも建物躯体のみの耐震強度であり、窓ガラスの破損・散逸、天井・壁等、内装の損壊、設備・機材類の落下・転倒・破損等の被害が想定されます。

② 建物の高さ・標高

パシフィコ横浜の建築物は、以下の高さにより設計されています。

津波警報が出た場合には、2階以上を避難場所といたします。

	地表からの高さ	東京湾平均海面（T.P.）を 基準とした標高
1階部分	0m	+4.51m
2階部分	+7.2m	+11.71m



(4) 避難場所

避難行動基準については、「3. 緊急事態発生時における行動基準・安全対策」にて詳細を述べますが、想定している避難場所は以下のとおりです。

災害内容	避難場所
火災	・ 臨港パーク (火元から遠いところとする) ⇒ 下図の薄い緑色のエリア
地震 (津波警報※なし)	・ 建物内に被害が無い場合は建物内 ・ 建物内に被害がある場合は臨港パーク ⇒ 下図の薄い緑色のエリア
地震 (津波警報※あり)	・ 2階以上に避難(2F部分は地表+7.2m、T.P.+11.71m) ・ 建物内に被害が無い場合は建物内の2階以上 ・ 建物内に被害がある場合は、国際交流ゾーンの2階デッキ部分 ⇒ 下図の濃い緑色のエリア

気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分(一部の地震(※)については最速2分以内)を目標に津波警報等を発表します。

※ 日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

種類		発表される津波の高さ、又は内容
津波警報	大津波	5m、10m、10m超
	津波	3m
津波注意報		1m
津波予報 (地震発生後、津波による災害が起こる可能性がない場合には、右の内容を津波予報で発表します。)		※ 津波が予想されないとき ※ 0.2m未満の海面変動が予想されたとき ※ 津波注意報解除後も海面変動が継続するとき

■ 避難場所



2 パシフィコ横浜における防火・防災体制

パシフィコ横浜では、「パシフィコ横浜防火防災消防計画」に基づき火災予防を実施するとともに、自衛消防隊を編成して非常の場合に備えています。

また、催事主催者の編成による自衛消防隊の積極的な参加・協力を得ることにより、災害の発生防止と催事の安全確保に努めております。

(1) 非常時の連絡体制

火災、救急等の緊急事態が発生した場合は、消防機関へ通報するとともに、中央防災センターに連絡してください。中央防災センターは、展示ホールの地下1階にあり、24時間常駐して全施設の警備・監視にあたっています。

① 連絡方法

電話の種類	電話番号
内 線	9 1 1 9 または 2 1 2 7
非常電話	消火栓設備の上部に設置（受話器を取れば直接繋がります）
外 線	0 4 5 - 2 2 1 - 2 1 2 7

② 連絡内容

連絡事項	連絡内容
場 所	緊急事態の発生場所
内 容	緊急事態の内容・原因・状態等
負 傷 者	負傷者の有無
避 難	避難実施の有無

③ 救急車手配における連絡内容

連絡事項	連絡内容
患 者	病人・負傷者の特徴（年齢・性別・国籍）
原 因 等	発病の状況・けがの原因
状態・容態	病人・負傷者の状態・容態
発生状況	発生場所・発生時間

④ 関係行政機関への連絡

連絡事項	警察	労働基準監督署
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●暴行・傷害・盗難等の事件 ●利用中の負傷・死亡事故・交通事故 ●作業中のけが・事故 	●作業中のけが・事故
連 絡 先	戸部警察署	神奈川労働基準監督署
住 所	横浜市西区戸部本町 50-6	横浜市港北区新横浜 3-24-6 横浜港北地方合同庁舎 3階
電話番号	0 4 5 - 3 2 4 - 0 1 1 0	0 4 5 - 4 7 4 - 1 2 5 1

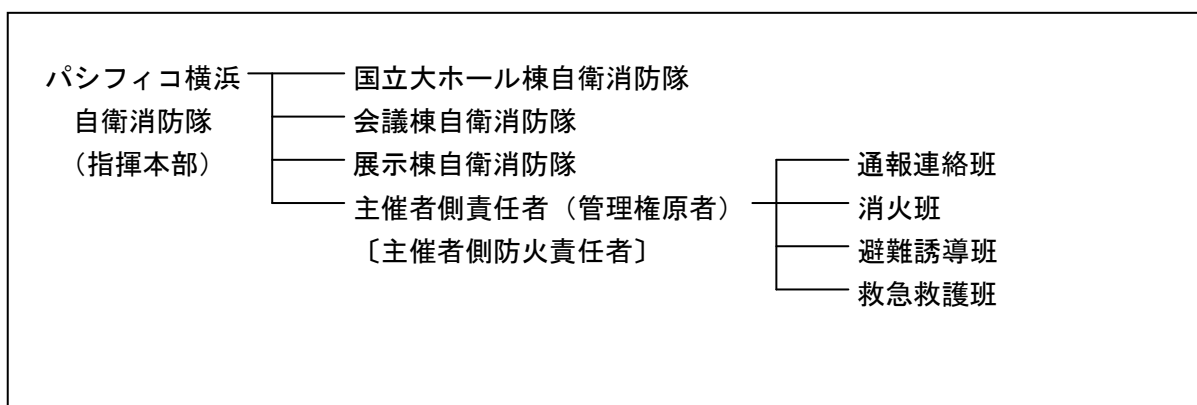
(2) 自主防火防災管理

① 主催者側の管理責任

- ・ ご利用期間中は、「パシフィコ横浜施設利用規則」および「パシフィコ横浜防災指針」に従い、利用者の責任において管理者を定めていただき、パシフィコ横浜との連絡・調整を図りながら、火災や事故の防止を行ってください。
- ・ 火災・地震・救急（病人や負傷者）・事件事故等が発生した場合に備え、「施設利用マニュアル」および本ガイドに基づいた打合せを担当者と綿密に行ってください。
- ・ ご利用期間中に火災・地震等の災害が発生した場合は、パシフィコ横浜自衛消防隊の指示に従い、通報連絡・避難誘導・初期消火を行ってください。

② 主催者側責任者（管理権原者）の責務

- ・ 催事の企画・運営にあたっては、災害の未然防止と来場者の安全確保を最優先に行ってください。
- ・ 防火防災責任者を選任し、主催者側の予防管理組織（火元責任者、誘導責任者等）と自衛消防隊の編成により、積極的に防火防災管理業務を行ってください。



③ 主催者側防火責任者の責務

- ・ 催事関係者に対する「パシフィコ横浜防災指針」および本ガイドの周知徹底と災害防止の指導を行ってください。
- ・ 主催者側自衛消防隊の編成と任務分担の周知徹底、消防用設備の操作方法の指導等を行ってください。
- ・ 災害発生時におけるパシフィコ横浜自衛消防隊への連絡体制を確立してください。
- ・ 非常時の案内放送の文例を作成し、案内放送を行ってください。
※案内放送文例 次ページ参照
- ・ 開場前、開催中および閉場後の会場監視を行ってください。
- ・ 設営、撤去時の会場整理を行ってください。

案内放送文例

■火災

火災発生連絡の場合	<ul style="list-style-type: none">・お客様にお知らせします。〇〇で火災の連絡がありました。・ただ今、係員が確認しておりますので次の放送までお待ちください。
-----------	---



火災が発生した場合	<ul style="list-style-type: none">・お客様にお知らせします。〇〇で火災が発生しました。ただちに自衛消防隊が活動を開始しています。・誘導員の指示に従い、落ち着いて非常口から避難してください。
火災発生無しの場合	<ul style="list-style-type: none">・お客様にお知らせします。〇〇で火災の連絡がありましたが、確認の結果、異常はありませんでしたのでご安心ください。

■地震

地震が発生した場合	<ul style="list-style-type: none">・お客様にお知らせします。ただ今、大きな地震を感じましたが、この建物は倒れる心配はありません。・窓際から離れ、身の安全を図ってください。・外へ出ると大変危険です。これからの放送をお待ちください。・避難の際はエレベーターを使用しないでください。・お客様にお知らせします。先ほどの地震の震源は〇〇で震源の深さ〇〇キロ、地震の規模はマグニチュード〇〇、こちらの震度は〇〇でした。・ただ今、施設の安全を確認しています。誘導員の指示があるまでその場でお待ちください。・屋外避難の指示がありました。落下物やガラスに注意し、誘導員に従って、落ち着いて避難してください。
津波警報が出た場合	<ul style="list-style-type: none">・津波の恐れがありますので、2階以上に避難してください。

■暗号文例

関係者参集する場合	<ul style="list-style-type: none">・催事巡回担当者は、時間となりましたので、至急〇〇に集まってください。
-----------	---

3 緊急事態発生時における行動基準・安全対策

(1) 火災

	主催者	パシフィコ横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">通報・連絡</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div>	① 主催者側責任者へ連絡 ・主催者側自衛消防隊へ指示 ② 中央防災センターへ連絡 ・内線 9119 / 外線 045-221-2127 ③ パシフィコ担当者へ連絡 ④ 119 番通報の優先 ・火の手が強い場合は、主催者より直接 119 番に通報	②③主催者からの連絡受電 ・主催者からの連絡受電 ④ 119 番通報 ・小規模火災の場合は、中央防災センターより 119 番に通報
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">初期消火</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div>	① 消火器、屋内消火栓 ・消火器による消火活動 ・屋内消火栓による消火活動	① 消火器、屋内消火栓 ・消火器による消火活動 ・屋内消火栓による消火活動
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">案内放送 避難誘導 応急救護</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div>	① 案内放送 ・放送等による来場者案内 ② 避難誘導 ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ 応急救護 ・ケガ人の応急救護	① 案内放送 ・緊急の場合は非常放送を実施 ② 避難誘導 ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ 応急救護 ・ケガ人の応急救護
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">状況の確認</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div>	① 被害状況の確認 ・消防隊到着までの現場保存 ・消防隊による鎮火の判断 ・人身その他の損害調査	① 被害状況の確認 ・会場その他の損害調査
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">催事開催 の判断</div>	① 開催（再開・中止）の判断 ・開催可否の協議	

※火災に伴って停電が起きた場合

①停電が発生した場合は、以下の機器類が作動します。

- ・非常照明：保安照明の作動まで点灯
- ・避難誘導灯： 内蔵バッテリーにて最大 60 分程度点灯
- ・非常放送設備： 内蔵バッテリーで作動

②電力供給が自家用発電機に切り替わり、保安照明等、緊急時に必要な設備が 2～3 分で立ち上がります。なお、自家用発電機のみでは通常の供給量は確保できないため、安全確保に必要な設備機器（保安照明、非常放送、防災設備、給排水ポンプ等）への供給のみとなります。

(2) 地震

	主催者	パシフィコ横浜
案内放送 ↓	① 案内放送 ・ 放送等による来場者案内	① 案内放送 ・ 震度5弱以上の地震の場合は、非常放送を実施 ・ 津波警報が発令された場合は、非常放送を実施
被害確認 ↓	① 被害の確認 ・ 負傷者の有無確認 ・ 火災発生時の初期消火	① 被害の確認 ・ 施設設備の損害確認 ・ 火災発生時の初期消火
避難誘導 ↓	① 建物の安全が確認された場合 ・ 建物内に止まり強い地震に注意 ② 建物損害が有る場合 ・ 来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ 津波警報が出ている場合 ・ 2階(デッキ含)以上に避難	② 建物損害が有る場合 ・ 来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ 津波警報が出ている場合 ・ 2階(デッキ含)以上に避難
周辺の状況確認 ↓		① 地震情報の収集 ・ 災害情報収集用テレビの設置 ② 周辺状況の連絡 ・ 周辺施設の状況の連絡
催事開催の判断	① 開催(再開・中止)の判断 ・ 開催可否の協議	

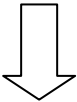
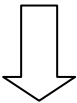
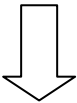
※地震に伴って停電が起きた場合

① 停電が発生した場合は、以下の機器類が作動します。

- ・ 非常照明：保安照明の作動まで点灯
- ・ 避難誘導灯：内蔵バッテリーにて最大60分程度点灯
- ・ 非常放送設備：内蔵バッテリーで作動

② 電力供給が自家発電機に切り替わり、保安照明等、緊急時に必要な設備が2～3分で立ち上がります。なお、自家発電機のみでは通常の供給量は確保できないため、安全確保に必要な設備機器(保安照明、非常放送、防災設備、給排水ポンプ等)への供給のみとなります。

(3) 救急（病人・負傷者）

	主催者	パシフィコ横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">救急の発生</div> 	<p>① 症状の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状から緊急性等を確認 ・移動可能な場合は救護室等を利用 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">通報・連絡</div> 	<p>① パシフィコ横浜への連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者への症状等の連絡 <p>② 119番通報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重篤な場合、本人もしくは関係者に確認して直接119番に通報 ・医療機関へ行くか救急車を呼ぶか迷った場合は、横浜市救急相談センターに相談 #7119（携帯電話、PHS、プッシュ回線） 045-222-7119（すべての電話でご利用できます） 	<p>① 主催者からの連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者から担当者への症状等の連絡受電 <p>② 119番通報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パシフィコ横浜より要請 ・医療機関へ行くか救急車を呼ぶか迷った場合は、横浜市救急相談センターに相談 #7119（携帯電話、PHS、プッシュ回線） 045-222-7119（すべての電話でご利用できます）
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">応急手当</div> 	<p>① 応急手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救護室等の救急箱を使用 ・応急手当を実施 <p>② 心肺蘇生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付近のAEDを使用し心肺蘇生 	<p>① 応急手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急箱を使用 ・応急手当を実施 <p>② 心肺蘇生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付近のAEDを使用し心肺蘇生
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">情報収集</div>	<p>① 救急（病人・負傷者）の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身元や同伴者等の確認 <p>② 現場の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重篤な負傷者の場合、受傷した現場を保存 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">救急車搬送</div>	<p>① 救急車搬送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急隊への症状や情報等の報告 ・同伴者または主催者の同乗 	<p>① 救急車搬送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パシフィコ横浜にて救急車を誘導

※AEDの場所は、資料の救護設備をご参照ください。

(4) 事件・事故

	主催者	パシフィコ横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">状況の確認</div>	① 状況の確認 ・ 事件・事故の内容を確認	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">通報・連絡</div>	① 中央防災センターへ連絡 ・ 内線 9119 / 外線 045-221-2127 ② パシフィコ担当者へ連絡 ③ 119 番・110 番通報の優先 ・ 緊急性が高い場合は直接、119 番・110 番に通報	①②主催者からの連絡受電 ・ 主催者からの連絡受電 ③ 119 番通報 ・ 必要に応じて 119 番および 110 番に通報
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">安全確保</div>	① 安全確保 ・ 火災発生時は初期消火を実施 ・ 二次災害防止のために安全を確保	① 安全確保 ・ 火災発生時は初期消火を実施 ・ 二次災害防止のために安全を確保
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">初期対応</div>	① 応急手当 ・ 負傷者発生時は応急手当を実施 ② 案内誘導 ・ 必要に応じて放送等による来場者案内と避難誘導を実施	① 応急手当 ・ 負傷者発生時は応急手当実施 ② 案内誘導 ・ 必要に応じて避難誘導を実施 ・ 重大かつ緊急の場合は非常放送を実施
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">現場の保全</div>	① 現場の保全 ・ 消防・警察に通報した場合現場を保存	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">催事開催の判断</div>	① 開催（再開・中止）の判断 ・ 開催可否の協議	

4. 資料

(1) 避難経路

- ・ 国立大ホール
- ・ 会議センター
- ・ 展示ホール、アネックスホール

(2) 防災設備

- ① 屋外消火栓
- ② 屋内消火栓、常設消火器

(3) 救護設備

- ① 救護室
- ② A E D（自動体外式除細動器）

(4) 災害用備蓄品

避難経路図


国立大ホール (国立横浜国際会議場)

National Convention Hall (National Convention Hall of Yokohama)

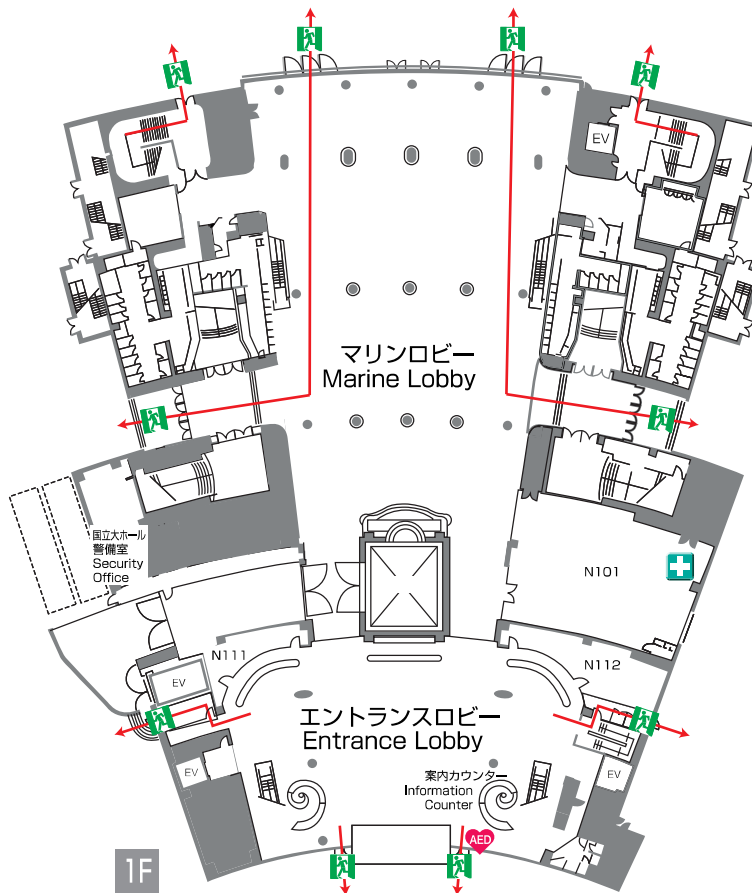
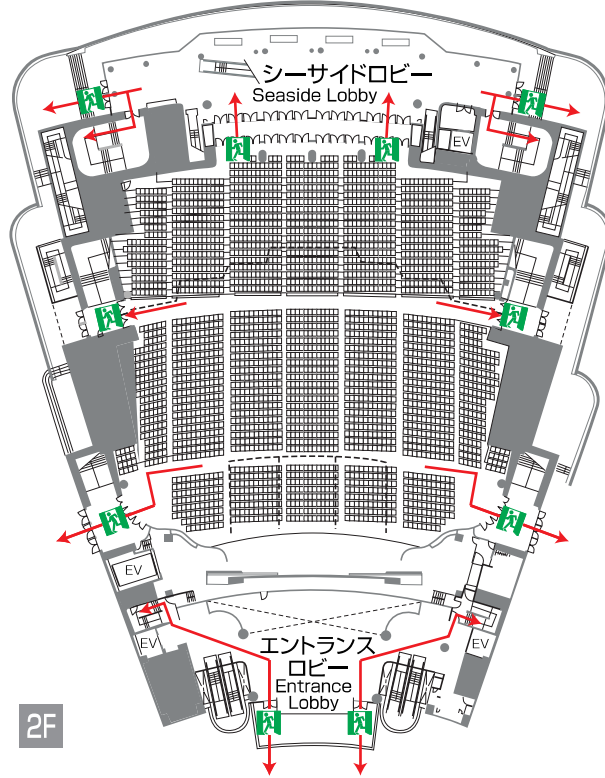
 救護室
 First-aid Corner

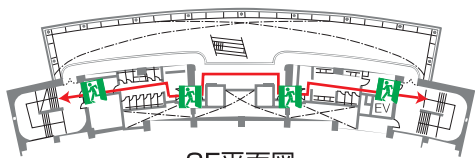
 避難経路
 Evacuation Route

 非常口
 Emergency Exit

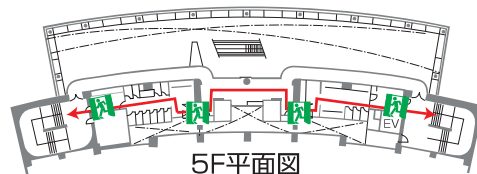
 AED
 (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan

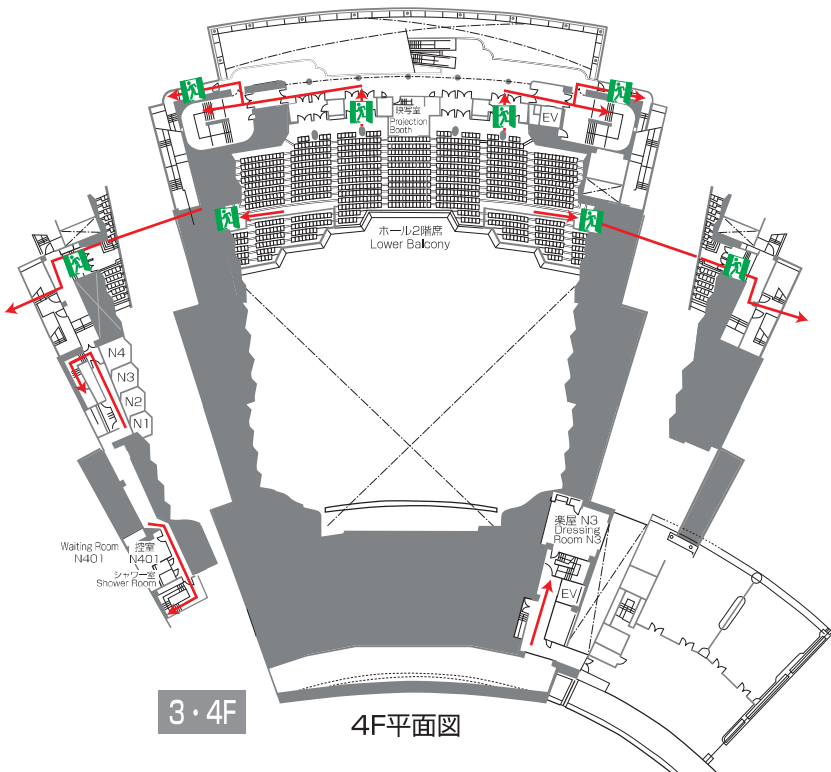




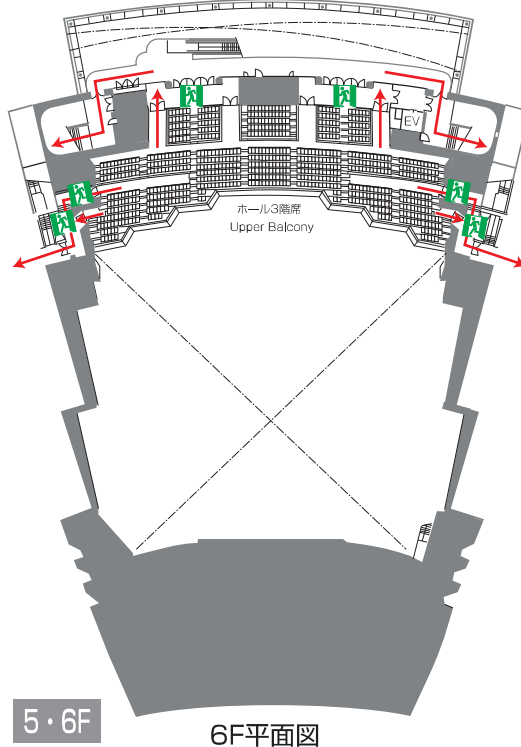
3F平面图
3F Seaside Lobby



5F平面图
5F Seaside Lobby

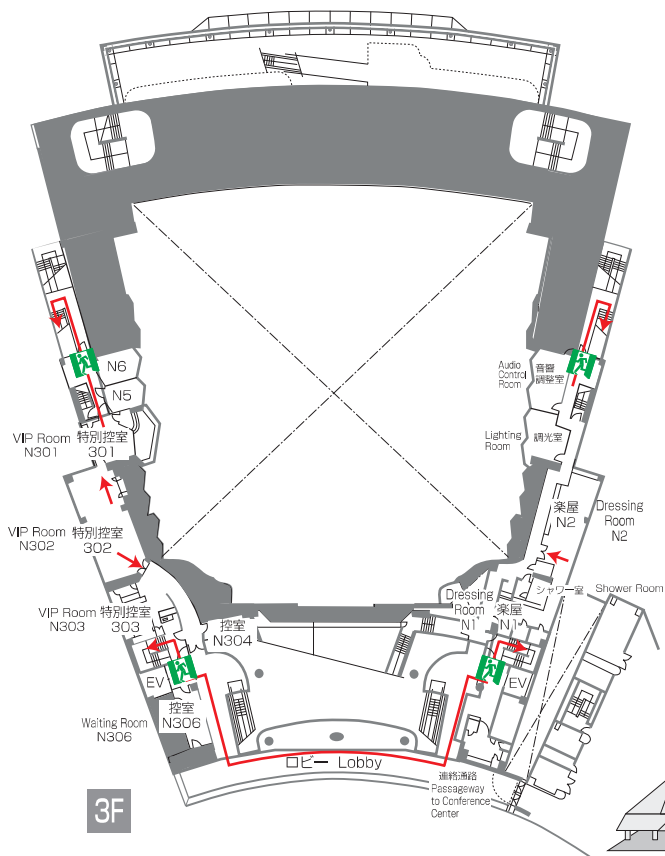


3·4F
4F平面图

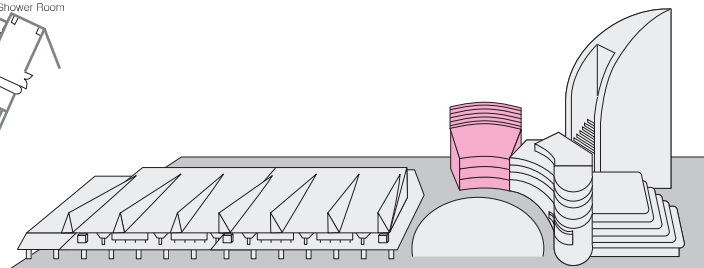


5·6F
6F平面图

平面図 / Floor Plan



3F



会議センター

Conference Center



・ 救護室
・ First-aid Corner



・ 避難経路
・ Evacuation Route

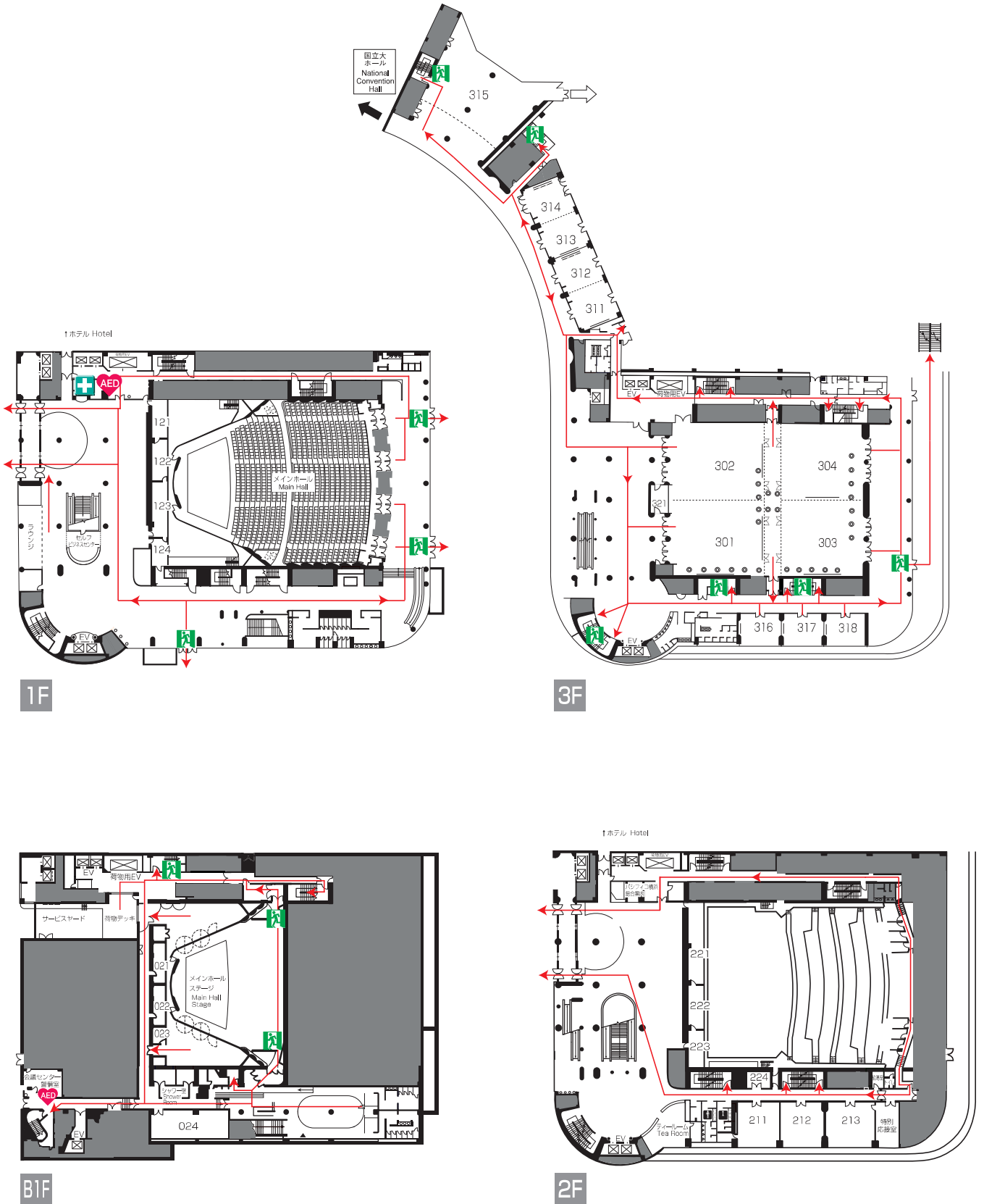


・ 非常口
・ Emergency Exit



・ AED
・ (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan



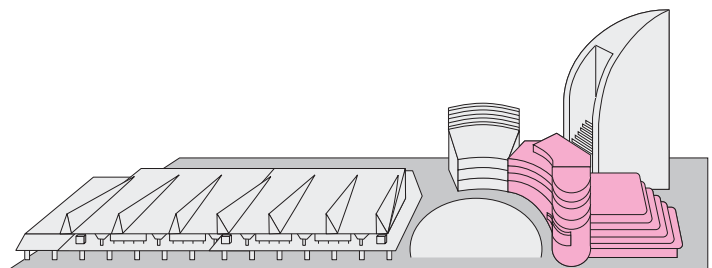
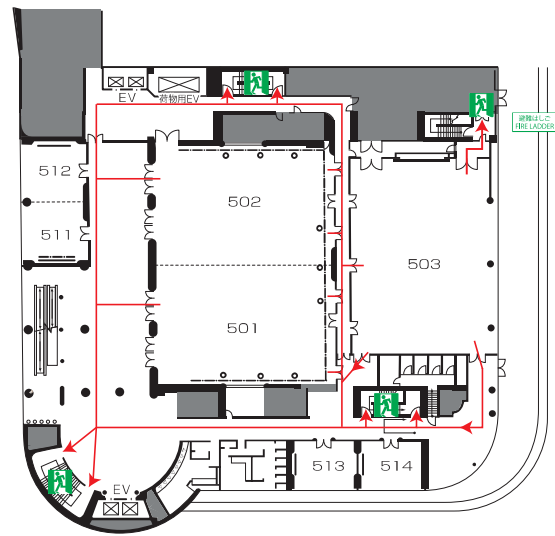
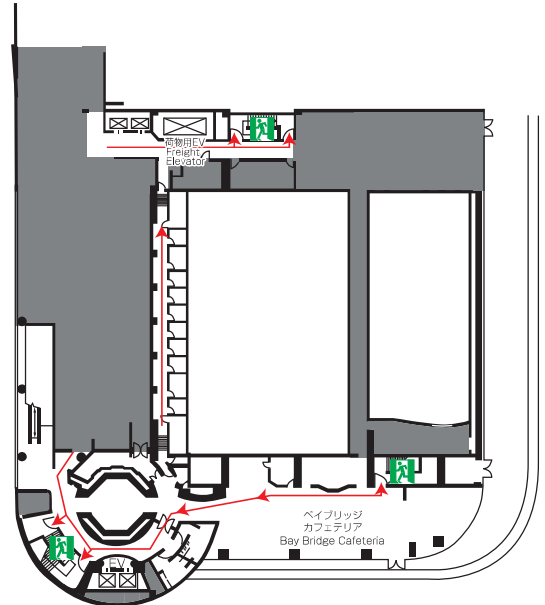
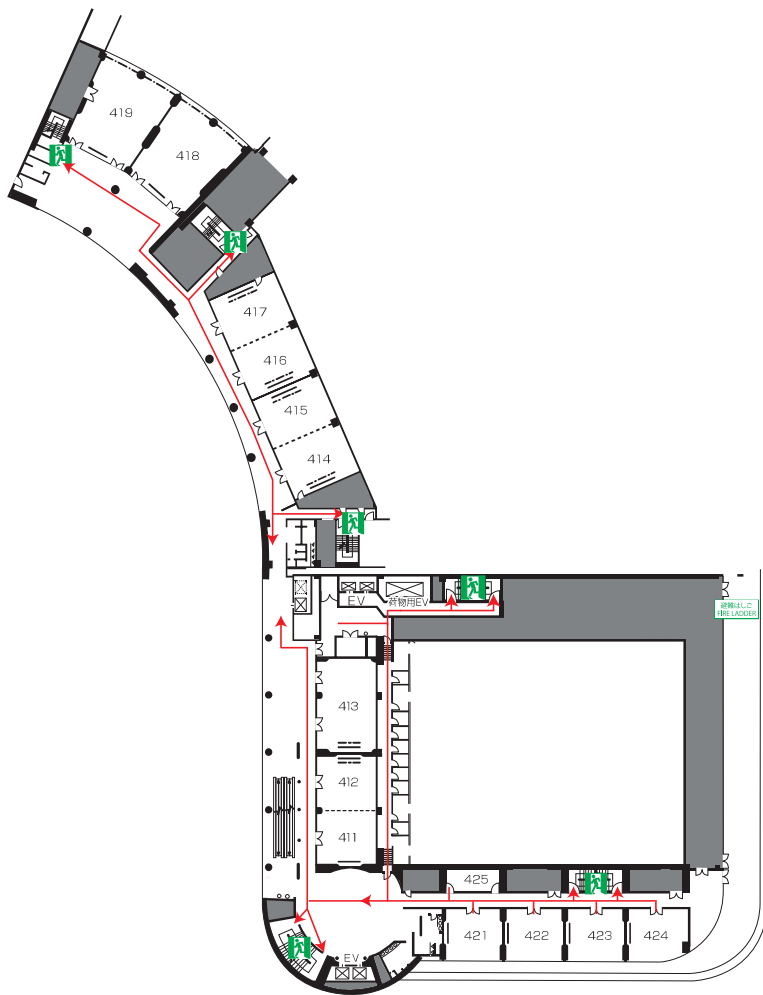
 救護室
 First-aid Corner

 避難経路
 Evacuation Route

 非常口
 Emergency Exit

 AED
 (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan



展示ホール

Exhibition Hall



・ 救護室
・ First-aid Corner



・ 避難経路
・ Evacuation Route



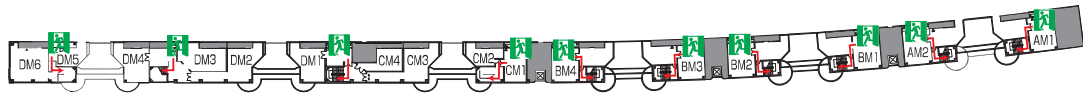
・ 非常口
・ Emergency Exit



・ AED
・ (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan

M2F



1F

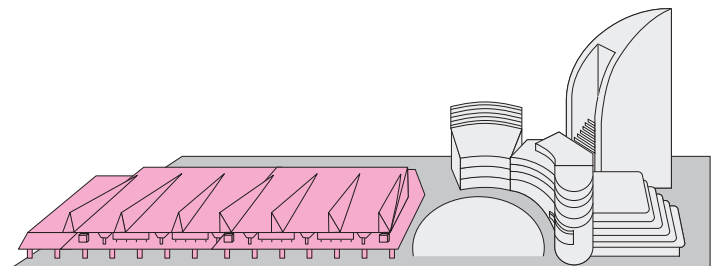
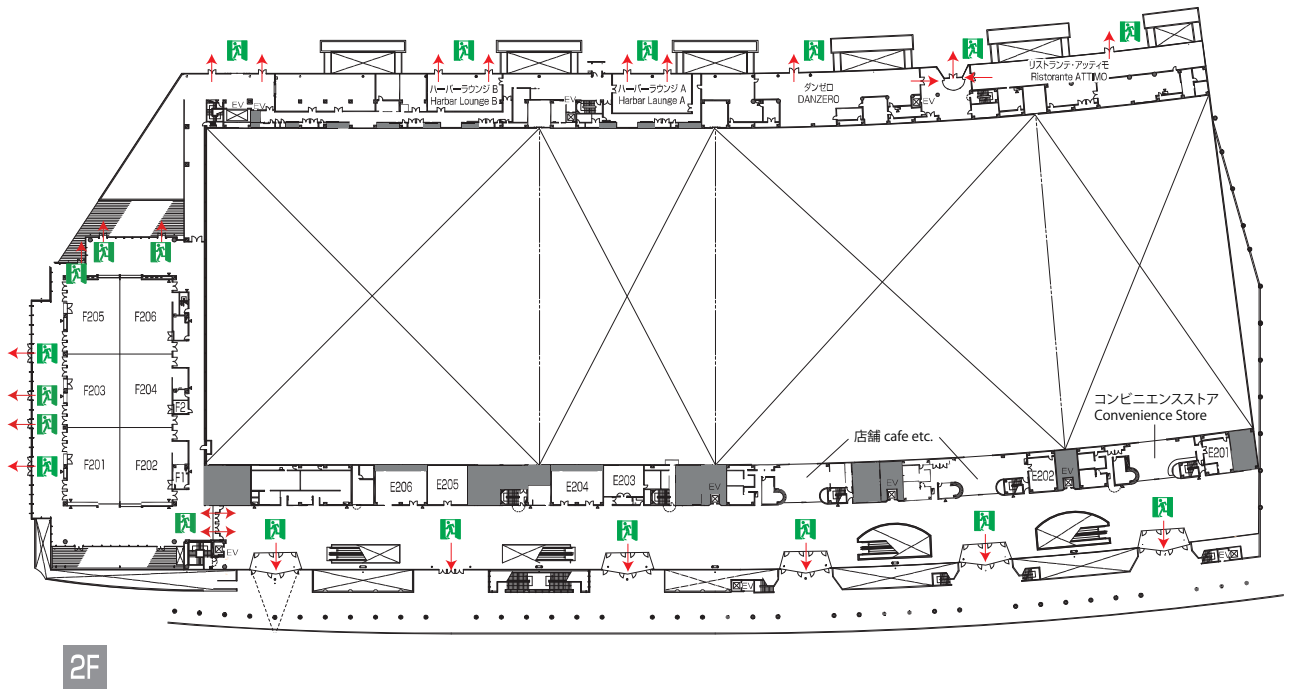


救護室
First-aid Corner

避難経路
Evacuation Route

非常口
Emergency Exit

AED
AED
(自動体外式除細動器)



(2) 防災設備

① 屋外消火栓



② 屋内消火栓、常設消火器



屋内消火栓



常設消火器

(3) 救護設備

① 救護室

設置場所	階	設置物
国立大ホール	1階「控室 N101」が救護室を兼ねています。	ベッド2台、車椅子2台、担架1台、救急箱
会議センター	1階	ベッド2台、車椅子3台、担架1台、ソファ1台、 血圧計（TERUMO）1台、電子体温計1本 事務用机・椅子一式 救急箱
展示ホール	1階 コンコース ホール B 前	ベッド2台、車椅子3台、担架1台、ソファ1台、 血圧計（TERUMO）1台、電子体温計1本 事務用机・椅子一式 救急箱

※医師・看護師の常駐はありません。

お客様にて御手配いただき、救護室をご使用することは問題ありません。（他催事との調整要）
また、弊社にて、医師・看護師の手配会社のご紹介を承っておりますので、営業担当にご相談ください。

■救急箱内備品

ガーゼ、医療用補助テープ、包帯、三角巾、綿棒、バンドエイド、はさみ、ピンセット、
体温計、消毒薬



国立大ホール
(控室 N101 内)



会議センター



展示ホール

② AED（自動体外式除細動器）

	設置施設	設置場所
①	国立大ホール	1 F エントランス
②	会議センター	1 F 救護室前
③	展示ホール	1 F 救護室前
④		B 1 F 中央防災センター
⑤	ぷかりさん橋	1 F エントランス付近
⑥	臨港パーク	臨港パーク駐車場 出入り口

15 ページ～20 ページの各施設の「避難経路」参照



♥ 心肺蘇生の流れ



♥ AEDは簡単3ステップ 音声ガイドに従って操作します

1. フタを開けると自動電源ON



2. 電極パッドを胸に貼る



3. ボタンを押して電気ショック



協力：日本光電工業株式会社

(4) 災害用備蓄品

2017年3月現在

品名	数
アルミブランケット	3,000枚
非常食（クッキー等）	3,000個
ライスクッキー（食物アレルギー対応）	96個
簡単トイレ	12,800個
災害支援ベンダー	会議センター：2台 展示ホール：9台

※ 大規模災害時には、ご利用者の皆様との協議の上、備蓄品の提供をいたします。



株式会社横浜国際平和会議場

パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 総合案内 045-221-2155 営業サービス部 045-221-2133

FAX 045-221-2136

<http://www.pacifico.co.jp/>